

## 校長室から

### 「疾風に勁草を知る」

今は一年で一番寒い時期のようで、寒さが容赦なく襲ってきます。これでもか、これでもかと襲ってくる冬の試練にじっと耐えている福井の人々は、我慢強いと改めて思います。

学校では、インフルエンザも入ってきて、クラスによっては欠席者が増えてきているところもあり、今後の様子を注意して見守っているところです。学校ではうがいや手洗い、教室の換気等をこまめに行うように指導していきますが、ご家庭でもこれらのことはもちろんですが、お子さんの体の具合によっては、早めに医師への受診をお願いしたいと思います。朝熱があるような場合には、決して無理して登校をさせずに、できるだけゆっくりと休ませ大事に至らないようにしてほしいと思います。

この寒さの中、体育館でバスケットボール大会に向けて必死にプレーする子どもたちの歓声が聞こえてきます。一方3年生は、推薦入試も始まり、次は私立高校の入試さらには県立高校の入試と受験の真っ最中です。心中は穏やかではないでしょうが、くれぐれも風邪をひかないように、無事に試験が受けられるように祈っているところです。

最初に、福井の人々の我慢強さについてふれましたが、人生に起こるいろいろな試練にじっと耐えて生きていく姿の尊さを表した言葉に次のようなものがあると、以前ある方に教わりました。それは、

「**疾風に勁草を知る**」（しっぷうに けいそうを しる）という言葉です。私はこの言葉から、子どもの頃よく見た光景で、吹雪に打たれながらもじっと耐える道ばたの雑草をイメージしてしまいます。意味は、草が激しい風にじっと耐える様から、いろいろな困難に出会ってはじめてその人間の本当の価値、本当の強さが分かるということだと伺いました。

私たちは、勁草になれるでしょうか。中学3年生の諸君が、今受けている試練もどうしても乗り越えなければならない壁だと思います。どういう結果になろうとも、それを受け入れ、そこからまた頑張っていく強さがどうしても必要であります。

人間が生きていくことは、それだけでも大変なこと。その上にいろいろな試練が待っています。子どもたちが様々な人々の応援や励ましを受けながら、勁草のごとく、自分の夢の実現に向けて頑張ってくれることを願っています。

平成24年1月31日



校長室から見る雪景色

「冬来たりなば春遠からじ」  
もうすぐ節分です。